



CHAPTER **6**

**clear configure コマンド～ clear configure
zonelabs-integrity コマンド**

clear configure

実行コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure** コマンドを使用します。

clear configure {**primary** | **secondary** | **all** | *command*}

構文の説明

all	実行コンフィギュレーション全体をクリアします。
<i>command</i>	指定したコマンドのコンフィギュレーションをクリアします。詳細については、このマニュアルの各 clear configure command コマンドの個々のエントリを参照してください。
primary	次のコマンドを含む、接続に関連するコマンドをクリアします。 <ul style="list-style-type: none"> • tftp-server • shun • route • ip address • mtu • failover • monitor-interface • boot
secondary	primary キーワードを使用してクリアされる接続に関連しないコマンドをクリアします。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルータッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
コマンドモード					
グローバル コンフィギュ レーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

このコマンドをセキュリティ コンテキストで入力すると、コンテキスト コンフィギュレーションだけがクリアされます。このコマンドをシステム実行スペースで入力すると、システム実行コンフィギュレーションと、すべてのコンテキスト実行コンフィギュレーションがクリアされます。システム コンフィギュレーション内のすべてのコンテキスト エントリがクリアされるため (**context** コマンドを参照)、コンテキストは実行されなくなり、コンテキスト実行スペースに移動できなくなります。

コンフィギュレーションをクリアする前に、(スタートアップ コンフィギュレーションの場所を指定する) **boot config** コマンドへのすべての変更をスタートアップ コンフィギュレーションに必ず保存してください。スタートアップ コンフィギュレーションの場所を実行コンフィギュレーション内だけで変更した場合、再起動時にコンフィギュレーションはデフォルトの場所からロードされます。

例

次に、実行コンフィギュレーション全体をクリアする例を示します。

```
hostname (config) # clear configure all
```

関連コマンド

コマンド	説明
configure http	指定した HTTP(S) URL のコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーションにマージします。
configure memory	スタートアップ コンフィギュレーションを実行コンフィギュレーションとマージします。
configure net	指定した TFTP URL のコンフィギュレーション ファイルを実行コンフィギュレーションにマージします。
configure factory-default	CLI で入力されたコマンドを実行コンフィギュレーションに追加します。
show running-config	実行コンフィギュレーションを表示します。

clear configure aaa

aaa コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure aaa** コマンドを使用します。**clear configure aaa** コマンドは、コンフィギュレーションから AAA コマンド ステートメントを削除します。

clear configure aaa

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュ レーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、CLI 内での一貫性のために修正されました。

使用上のガイドライン

また、このコマンドは、AAA パラメータ（存在する場合）をデフォルト値にリセットします。取り消し操作はありません。

例

```
hostname(config)# clear configure aaa
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa accounting	ユーザがアクセスしたネットワーク サービスに関するレコードの保持をイネーブル化、ディセーブル化、または表示します。
aaa authentication	aaa-server コマンドで指定したサーバ上での LOCAL、TACACS+、または RADIUS のユーザ認証、あるいは ASDM ユーザ認証をイネーブル化または表示します。
aaa authorization	aaa-server コマンドで指定した LOCAL または TACACS+ サーバのユーザ認可、あるいは ASDM ユーザ認証のユーザ認可をイネーブルまたはディセーブルにします。
show running-config aaa	AAA コンフィギュレーションを表示します。

clear configure aaa-server

すべての AAA サーバ グループを削除するには、または指定したグループをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure aaa-server** コマンドを使用します。

```
clear configure aaa-server [server-tag]
```

```
clear configure aaa-server [server-tag] host server-ip
```

構文の説明

<i>server-ip</i>	AAA サーバの IP アドレス。
<i>server-tag</i>	(任意) クリアするサーバ グループの記号名。

デフォルト

すべての AAA サーバ グループを削除します。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

特定の AAA サーバ グループ、またはデフォルトで、すべての AAA サーバ グループを指定できます。サーバ グループ内の特定のサーバを指定するには、**host** キーワードを使用します。

また、このコマンドは、AAA サーバ パラメータ (存在する場合) をデフォルト値にリセットします。

例

```
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 protocol sdi
hostname(config)# aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
hostname(config-aaa-server)# timeout 9
hostname(config-aaa-server)# retry 7
hostname(config-aaa-server)# sdi-version sdi-5
hostname(config-aaa-server)# exit
```

上記のコンフィギュレーションを前提として、次のコマンドは、グループから特定のサーバを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server svrgrp1 host 1.2.3.4
```

次のコマンドは、1 つのサーバ グループを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server svrgrp1
```

次のコマンドは、すべてのサーバ グループを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config aaa-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
aaa-server host	ホスト固有の AAA サーバ接続データを指定および管理します。
aaa-server protocol	すべてのホストに対してグループ固有かつ共通の AAA サーバパラメータを設定できます。
show running-config aaa	他の AAA コンフィギュレーション値とともに、ユーザ 1 人あたりに許可する同時プロキシ接続の現在の最大数を表示します。

clear configure access-group

すべてのインターフェイスからアクセス グループを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure access-group** コマンドを使用します。

clear configure access-group

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

例

次に、すべてのアクセス グループを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure access-group
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-group	アクセス リストをインターフェイスにバインドします。
show running-config access-group	現在のアクセス グループ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure access-list

実行コンフィギュレーションからアクセス リストをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure access list** コマンドを使用します。

clear configure access-list [*id*]

構文の説明

id (任意) アクセス リストの名前または番号。

デフォルト

実行コンフィギュレーションからすべてのアクセス リストがクリアされます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

clear configure access-list コマンドは、**crypto map** コマンドまたはインターフェイスからアクセス リストを自動的にアンバインドします。**crypto map** コマンドからアクセス リストをアンバインドすると、すべてのパケットが廃棄される状態になる場合があります。これは、アクセス リストを参照している **crypto map** コマンドが不完全なものになるためです。この状態を解消するには、他の **access-list** コマンドを定義して **crypto map** コマンドを完全なものにするか、**access-list** コマンドに関する **crypto map** コマンドを削除します。詳細については、**crypto map client** コマンドを参照してください。

例

次に、実行コンフィギュレーションからアクセス リストをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure access-list
```

関連コマンド

コマンド	説明
access-list extended	アクセス リストをコンフィギュレーションに追加し、ファイアウォールを通過する IP トラフィック用のポリシーを設定します。
access-list standard	OSPF ルートの宛先 IP アドレスを識別するアクセス リストを追加します。このアクセス リストは、OSPF 再配布のルート マップで使用できます。
clear access-list	アクセス リストのカウンタをクリアします。

コマンド	説明
show access-list	アクセス リストのカウンタを表示します。
show running-config access-list	セキュリティ アプライアンスで実行されているアクセス リスト コンフィ ギュレーションを表示します。

clear configure alias

コンフィギュレーションからすべての **alias** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure alias** コマンドを使用します。

clear configure alias

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての **alias** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure alias
```

関連コマンド

コマンド	説明
alias	あるアドレスを別のアドレスに変換します。
show running-config alias	コンフィギュレーション内のデュアル NAT コマンドと重複しているアドレスを表示します。

clear configure arp

arp コマンドで追加したスタティック ARP エントリをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure arp** コマンドを使用します。

clear configure arp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、コンフィギュレーションからスタティック ARP エントリをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure arp
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	トランスペアレント ファイアウォール モードで、ARP パケットを調査し、ARP スプーフィングを防止します。
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure arp-inspection

ARP インспекションのコンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure arp-inspection** コマンドを使用します。

clear configure arp-inspection

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ARP インспекションのコンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure arp-inspection
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
arp-inspection	トランスペアレント ファイアウォール モードで、ARP パケットを調査し、ARP スプーフィングを防止します。
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure asdm

実行コンフィギュレーションからすべての **asdm** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure asdm** コマンドを使用します。

clear configure asdm [location | group | image]

構文の説明

group	(任意) 実行コンフィギュレーションから asdm group コマンドだけをクリアします。
image	(任意) 実行コンフィギュレーションから asdm image コマンドだけをクリアします。
location	(任意) 実行コンフィギュレーションから asdm location コマンドだけをクリアします。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear pdm コマンドから clear configure asdm コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

実行コンフィギュレーション内の **asdm** コマンドを表示するには、**show running-config asdm** コマンドを使用します。

コンフィギュレーションから **asdm image** コマンドをクリアすると、ASDM アクセスがディセーブルになります。コンフィギュレーションから **asdm location** コマンドと **asdm group** コマンドをクリアすると、ASDM は、次回アクセスされたときにこれらのコマンドを再生成しますが、アクティブな ASDM セッションが妨げられる場合があります。



(注)

マルチ コンテキスト モードで実行されているセキュリティ アプライアンスでは、**clear configure asdm image** コマンドはシステム実行スペースでのみ使用できます。一方、**clear configure asdm group** コマンドおよび **clear configure asdm location** コマンドは、ユーザ コンテキストでのみ使用できます。

例

次に、実行コンフィギュレーションから **asdm group** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure asdm group
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
asdm group	オブジェクト グループ名をインターフェイスに関連付けるために、ASDM によって使用されます。
asdm image	ASDM イメージ ファイルを指定します。
asdm location	IP アドレスをインターフェイス アソシエーションに記録するために、ASDM によって使用されます。
show running-config asdm	実行コンフィギュレーション内の asdm コマンドを表示します。

clear configure auth-prompt

前に指定した認証プロンプト チャレンジ テキストを削除し、デフォルト値（存在する場合）に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure auth-prompt** コマンドを使用します。

clear configure auth-prompt

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI 規格に適合するようにこのコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

認証プロンプトをクリアした後、ユーザのログイン時に表示されるプロンプトは、使用するプロトコルによって次のように異なります。

- HTTP を使用してログインするユーザの場合、HTTP Authentication が表示されます。
- FTP を使用してログインするユーザの場合、FTP Authentication が表示されます。
- Telnet を使用してログインするユーザの場合、プロンプトは表示されません。

例

次に、認証プロンプトをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure auth-prompt
```

関連コマンド

auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを設定します。
show running-config auth-prompt	ユーザ認可プロンプトを表示します。

clear configure banner

すべてのバナーを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure banner** コマンドを使用します。

clear configure banner

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュ レーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、バナーをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure banner
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner	セッション バナー、ログイン バナー、または Message-of-The-Day バナーを設定します。
show running-config banner	すべてのバナーを表示します。

clear configure ca certificate map

すべての証明書マップ エントリ、または指定した証明書マップ エントリを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ca configurate map** コマンドを使用します。

clear configure ca certificate map [*sequence-number*]

構文の説明

sequence-number (任意) 削除する証明書マップ ルールの番号を指定します。指定できる範囲は 1 ～ 65535 です。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表は、このコマンドを入力できるモードを示しています。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、すべての証明書マップ エントリを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ca certificate map
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca certificate map	CA 証明書マップ モードを開始します。

clear configure class

リソース クラス コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure class** コマンドを使用します。

clear configure class

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、クラス コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure class
```

関連コマンド

コマンド	説明
class	リソース クラスを設定します。
context	セキュリティ コンテキストを設定します。
limit-resource	クラスのリソース制限を設定します。
member	コンテキストをリソース クラスに割り当てます。
show class	クラスに割り当てられているコンテキストを表示します。

clear configure class-map

すべてのクラス マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure class-map** コマンドを使用します。

```
clear configure class-map [type {management | regex | inspect [protocol]}]
```

構文の説明

inspect	(任意) インспекション クラス マップをクリアします。
management	(任意) 管理クラス マップをクリアします。
protocol	(任意) クリアするアプリケーション マップのタイプを指定します。利用可能なタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dns • ftp • h323 • http • im • p2p-donkey • sip
regex	(任意) 正規表現クラス マップをクリアします。
type	(任意) クリアするクラス マップのタイプを指定します。レイヤ 3/4 クラス マップをクリアする場合は、タイプを指定しません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

特定の名前のクラス マップをクリアするには、**class-map** コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次に、設定済みのすべてのクラス マップをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure class-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	トラフィック クラスをインターフェイスに適用します。
show running-config class-map	クラス マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure client-update

クライアント更新を強制する機能をコンフィギュレーションから削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードまたはトンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション モードで **clear configure client-update** コマンドを使用します。

clear configure client-update

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—
トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。
7.1(1)	トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション モードが追加されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションからクライアント更新機能を削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure client-update
hostname(config)#
```

次に、トンネル グループ ipsec 属性コンフィギュレーション モードで、test という名前のトンネル グループのコンフィギュレーションからクライアント更新機能を削除する例を示します。

```
hostname(config)# tunnel-group test ipsec-attributes
hostname(config-tunnel-ipsec)# clear configure client-update
hostname(config-tunnel-ipsec)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
client-update	クライアント アップデートを設定します。
show running-config client-update	現在のクライアント アップデート コンフィギュレーションを表示します。

clear configure clock

クロック コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure clock** コマンドを使用します。

clear configure clock

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear clock から変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、すべての **clock** コンフィギュレーション コマンドをクリアします。**clock set** コマンドはコンフィギュレーション コマンドではないため、このコマンドはクロックをリセットしません。クロックをリセットするには、**clock set** コマンドの新しい時刻を設定する必要があります。

例

次に、すべての clock コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure clock
```

関連コマンド

コマンド	説明
clock set	時間を手動で設定します。
clock summer-time	夏時間を表示する日付範囲を設定します。
clock timezone	時間帯を設定します。

clear configure command-alias

デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure command-alias** コマンドを使用します。

clear configure command-alias

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレ ーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには使用上のガイドラインがありません。

例

次に、デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure command-alias
```

関連コマンド

コマンド	説明
command-alias	コマンドエイリアスを作成します。
show running-config command-alias	デフォルト以外のコマンドエイリアスをすべて表示しま す。

clear configure compression

グローバル圧縮コンフィギュレーションをデフォルト（すべての圧縮技術がイネーブル）にリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure compression** コマンドを使用します。

clear configure compression

デフォルト

このコマンドにデフォルトの動作はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、圧縮コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure compression
```

関連コマンド

コマンド	説明
compression	すべての SVC 接続、WebVPN 接続、およびポート転送接続に対して圧縮をイネーブルにします。
svc compression	特定のグループまたはユーザに対して SVC 接続を介する HTTP データの圧縮をイネーブルにします。

clear configure console

コンソール接続設定をデフォルトにリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure console** コマンドを使用します。

clear configure console

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、コンソール接続設定をデフォルトにリセットする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure console
```

関連コマンド

コマンド	説明
console timeout	セキュリティ アプライアンスに対するコンソール接続のアイドル タイムアウトを設定します。
show running-config console timeout	セキュリティ アプライアンスに対するコンソール接続のアイドル タイムアウトを表示します。

clear configure context

システム コンフィギュレーション内のすべてのコンテキスト コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure context** コマンドを使用します。

clear configure context [noconfirm]

構文の説明

noconfirm (任意) 確認を求めるプロンプトを表示せずにすべてのコンテキストを削除します。このオプションは自動スクリプトで役立ちます。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用すると、管理コンテキストを含むすべてのコンテキストを削除できます。管理コンテキストは、**no context** コマンドを使用して削除することはできませんが、**clear configure context** コマンドを使用して削除できます。

例

次に、システム コンフィギュレーションからすべてのコンテキストを削除し、削除を確認しない例を示します。

```
hostname(config)# clear configure context noconfirm
```

関連コマンド

コマンド	説明
admin-context	管理コンテキストを設定します。
changeto	コンテキスト間またはコンテキストとシステム実行スペースの間で切り替えを行います。
context	システム コンフィギュレーションにセキュリティ コンテキストを作成し、コンテキスト コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンド	説明
<code>mode</code>	コンテキスト モードをシングルまたはマルチに設定します。
<code>show context</code>	コンテキストのリスト (システム実行スペース) または現在のコンテキストに関する情報を表示します。

clear configure crypto

IPSec、クリプト マップ、ダイナミック クリプト マップ、CA トラストポイント、すべての証明書、証明書マップ コンフィギュレーション、および ISAKMP を含む、クリプト コンフィギュレーション全体を削除するには、グローバル コンフィギュレーションで **clear configure crypto** コマンドを使用します。特定のコンフィギュレーションを削除するには、構文に示されているように、このコマンドをキーワードとともに使用します。このコマンドは注意して使用してください。

clear configure crypto [**ca** | **dynamic-map** | **ipsec** | **iskmp** | **map**]

構文の説明

ca	認証局のポリシーを削除します。
dynamic-map	ダイナミック クリプト マップ コンフィギュレーションを削除します。
ipsec	IPSec コンフィギュレーションを削除します。
iskmp	ISAKMP コンフィギュレーションを削除します。
map	クリプト マップ コンフィギュレーションを削除します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで発行され、セキュリティ アプライアンスからすべてのクリプト コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure crypto
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto dynamic-map	コンフィギュレーションから、すべてのダイナミック クリプト マップまたは指定したダイナミック クリプト マップをクリアします。
clear configure crypto map	すべてまたは指定されたクリプト マップをコンフィギュレーションからクリアします。

コマンド	説明
<code>clear configure isakmp policy</code>	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
<code>show running-config crypto</code>	IPSec、クリプト マップ、ダイナミック クリプト マップ、ISAKMP など暗号コンフィギュレーション全体を表示します。

clear configure crypto ca trustpoint

コンフィギュレーションからすべてのトラストポイントを削除するには、グローバル コンフィギュレーションで **clear configure crypto ca trustpoint** コマンドを使用します。

clear configure crypto ca trustpoint

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションからすべてのトラストポイントを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure crypto ca trustpoint
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca trustpoint	指定したトラストポイントのトラストポイント サブコンフィギュレーション レベルに入ります。

clear configure crypto dynamic-map

コンフィギュレーションからすべてのダイナミック クリプト マップまたは指定したダイナミック クリプト マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーションで **clear configure crypto dynamic-map** コマンドを使用します。

clear configure crypto dynamic-map *dynamic-map-name* *dynamic-seq-num*

構文の説明

dynamic-map-name 特定のダイナミック クリプト マップの名前を指定します。
dynamic-seq-num ダイナミック クリプト マップのシーケンス番号を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションからシーケンス番号 3 のダイナミック クリプト マップ `mymaps` を削除する例を示します。

```
hostname (config)# clear configure crypto dynamic-map mymaps 3
hostname (config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto map	すべてのクリプト マップまたは指定したクリプト マップのコンフィギュレーションをクリアします。
show running-config crypto dynamic-map	すべてのダイナミック クリプト マップのアクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。
show running-config crypto map	すべてのクリプト マップのアクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure crypto isakmp

すべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure crypto isakmp** コマンドを使用します。

clear configure crypto isakmp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp コマンドで置換されています。

例

次のコマンドは、グローバル コンフィギュレーション モードで発行され、すべての ISAKMP コンフィギュレーションをセキュリティ アプライアンスから削除しています。

```
hostname(config)# clear configure crypto isakmp
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
crypto isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show crypto isakmp stats	実行時統計情報を表示します。
show crypto isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config crypto isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure crypto isakmp policy

すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp policy** コマンドを使用します。

clear configure crypto isakmp policy priority

構文の説明

priority クリアする ISAKMP プライオリティのプライオリティを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp policy コマンドが導入されました。
7.2(1)	clear configure isakmp policy コマンドが、 clear configure crypto isakmp policy コマンドに置き換えられました。

例

次に、プライオリティ 3 の ISAKMP ポリシーをコンフィギュレーションから削除する例を示します。

```
hostname (config) # clear configure isakmp policy 3
hostname (config) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp stats	実行時統計情報を表示します。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure crypto map

コンフィギュレーションからすべてのクリプト マップまたは指定したクリプト マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーションで **clear configure crypto map** コマンドを使用します。

clear configure crypto map *map-name seq-num*

構文の説明

<i>map-name</i>	特定のクリプト マップの名前を指定します。
<i>seq-num</i>	クリプト マップのシーケンス番号を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションからシーケンス番号 3 のクリプト マップ `mymaps` を削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure crypto map mymaps 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure crypto dynamic-map	すべてのダイナミック クリプト マップまたは指定したダイナミック クリプト マップのコンフィギュレーションをクリアします。
crypto map interface	クリプト マップをインターフェイスに適用します。
show running-config crypto map	すべてのクリプト マップのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。
show running-config crypto dynamic-map	すべてのダイナミック クリプト マップのアクティブなコンフィギュレーションを表示します。

clear configure ctl-file

設定されている CTL ファイル インスタンスをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ctl-file** コマンドを使用します。

clear configure ctl [*ctl_name*]

構文の説明

ctl_name (任意) CTL インスタンスの名前を指定します。

コマンドデフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(4)	このコマンドが追加されました。

例

次に、**clear configure ctl-file** コマンドを使用して、設定されている CTL ファイル インスタンスをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure ctl asa_phone_proxy asa_ctl
```

関連コマンド

コマンド	説明
ctl-file (グローバル)	Phone Proxy コンフィギュレーション用に作成する CTL ファイル、またはフラッシュ メモリから解析するための CTL ファイルを指定します。
ctl-file (Phone-Proxy)	Phone Proxy コンフィギュレーションで使用する CTL ファイルを指定します。
phone-proxy	Phone Proxy インスタンスを設定します。

clear configure ctl-provider

設定されているすべての証明書信頼リスト プロバイダー インスタンスを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ctl-provider** コマンドを使用します。

clear configure ctl-provider

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**clear configure ctl-provider** コマンドの構文例を示します。

```
hostname# clear configure ctl-provider
```

関連コマンド

コマンド	説明
ctl	CTL クライアントの CTL ファイルを解析し、トラストポイントをインストールします。
ctl-provider	CTL プロバイダー モードで CTL プロバイダー インスタンスを設定します。
export	クライアントにエクスポートする証明書を指定します。
service	CTL プロバイダーがリスンするポートを指定します。

clear configure ddns

すべての DDNS コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ddns** コマンドを使用します。

clear configure ddns

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、すべての DDNS コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname (config) # clear configure ddns
```

関連コマンド

コマンド	説明
ddns (DDNS 更新方式モード)	作成済みの DDNS 方式に対して、DDNS アップデート方式のタイプを指定します。
ddns update (インターフェイス コンフィギュレーションモード)	セキュリティ アプライアンス インターフェイスを DDNS アップデート方式または DDNS アップデート ホスト名に関連付けます。
ddns update method (グローバル コンフィギュレーションモード)	DNS のリソース レコードをダイナミックにアップデートするための方式を作成します。
show ddns update interface	設定済みの各 DDNS 方式に関連付けられたインターフェイスを表示します。
show ddns update method	設定済みの DDNS 方式ごとにタイプと間隔を表示します。DDNS アップデートを実行する DHCP サーバ。
show running-config ddns	実行コンフィギュレーションに設定されているすべての DDNS 方式のタイプおよび間隔を表示します。

clear configure dhcpd

DHCP サーバ コマンド、バインディング、および統計情報をすべてクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dhcpd** コマンドを使用します。

clear configure dhcpd

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear dhcpd から clear configure dhcpd に変更されました。

使用上のガイドライン

clear configure dhcpd コマンドは、**dhcpd** コマンド、バインディング、および統計情報をすべてクリアします。統計情報カウンタまたはバインディング情報だけをクリアするには、**clear dhcpd** コマンドを使用します。

例

次に、すべての **dhcpd** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure dhcpd
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear dhcpd	DHCP サーバ バインディングおよび統計情報カウンタをクリアします。
show running-config dhcpd	現在の DHCP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure dhcprelay

すべての DHCP リレー コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dhcprelay** コマンドを使用します。

clear configure dhcprelay

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear dhcprelay から clear configure dhcprelay に変更されました。

使用上のガイドライン

clear configure dhcprelay コマンドは、DHCP リレーの統計情報およびコンフィギュレーションをクリアします。DHCP 統計情報カウンタだけをクリアするには、**clear dhcprelay statistics** コマンドを使用します。

例

次に、DHCP リレー コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure dhcprelay
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計カウンタをクリアします。
debug dhcprelay	DHCP リレー エージェントのデバッグ情報を表示します。
show dhcprelay statistics	DHCP リレー エージェントの統計情報を表示します。
show running-config dhcprelay	DHCP リレー エージェントの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure dns

すべての DNS コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure dns** コマンドを使用します。

clear configure dns

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、すべての DNS コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure dns
```

関連コマンド

コマンド	説明
dns domain-lookup	セキュリティ アプライアンスによるネーム ルックアップの実行をイネーブルにします。
dns name-server	DNS サーバアドレスを設定します。
dns retries	セキュリティ アプライアンスが応答を受信しないときに、DNS サーバのリストを再試行する回数を指定します。
dns timeout	次の DNS サーバを試行するまでに待機する時間を指定します。
show dns-hosts	DNS キャッシュを表示します。

clear configure dynamic-access-policy-config

DAP コンフィギュレーションをクリアするには、ダイナミック アクセス ポリシー レコード コンフィギュレーション モードで **clear configure dynamic-access-policy-config** コマンドを使用します。

clear config dynamic-access-policy-config *name*

構文の説明

name DAP コンフィギュレーション ファイルの名前を指定するストリング。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
ダイナミック アクセス ポリシー レコード コンフィギュレーション	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、Finance という DAP レコードにプライオリティ 15 を設定する例を示します。

```
hostname (config) config-dynamic-access-policy-record Finance
hostname (config-dynamic-access-policy-record) # priority 15
hostname (config-dynamic-access-policy-record) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
dynamic-access-policy-record	DAP レコードを作成します。
show running-config dynamic-access-policy-record <i>[name]</i>	すべての DAP レコードまたは指定した DAP レコードの実行コンフィギュレーションを表示します。

clear config dynamic-access-policy-record

DAP レコードをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードでレコードの名前を指定して **clear config dynamic-access-policy-record** コマンドを使用します。すべての DAP レコードをクリアするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

clear config dynamic-access-policy-record name

構文の説明

name DAP レコードの名前を指定します。名前は 64 文字以内で指定できます。スペースを含めることはできません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、Finance という名前の DAP レコードをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure dynamic-access-policy-record Finance
hostname(config-dynamic-access-policy-record)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
dynamic-access-policy-record <i>[name]</i>	指定した DAP レコードを作成します。
dynamic-access-policy-config url	DAP 選択コンフィギュレーション ファイルを設定します。
show running-config dynamic-access-policy-record <i>[name]</i>	すべての DAP レコードまたは指定した DAP レコードの実行コンフィギュレーションを表示します。

clear configure established

確立されたコマンドをすべて削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure established** コマンドを使用します。

clear configure established

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン

established コマンドで作成した確立済みの接続を削除するには、**clear xlate** コマンドを入力します。

例

次に、確立されているコマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure established
```

関連コマンド

コマンド	説明
established	確立されている接続に基づくポート上のリターン接続を許可します。
show running-config established	確立されている接続に基づく、許可済みの着信接続を表示します。
clear xlate	現在の変換および接続スロット情報をクリアします。

clear configure failover

コンフィギュレーションから **failover** コマンドを削除してデフォルトに戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure failover** コマンドを使用します。

clear configure failover

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear failover から clear configure failover に変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての **failover** コマンドをクリアし、デフォルトに戻します。**all** キーワードを **show running-config failover** コマンドで使用すると、デフォルトのフェールオーバー コンフィギュレーションが表示されます。

clear configure failover コマンドは、マルチ コンフィギュレーション モードのセキュリティ コンテキストでは使用できません。このコマンドはシステム実行スペースで入力する必要があります。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての failover コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure failover
hostname(config)# show running-configuration failover
no failover
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config failover	実行コンフィギュレーションの failover コマンドを表示します。

clear configure filter

URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure filter** コマンドを使用します。

clear configure filter

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレ ーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure filter コマンドは、URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションをクリアします。

例

次に、URL、FTP、および HTTPS フィルタリング コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure filter
```

関連コマンド

コマンド	説明
filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに送ります。
show running-config filter	フィルタリング コンフィギュレーションを表示します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure fips

NVRAM に格納されているシステムまたはモジュールの FIPS コンフィギュレーション情報をクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure fips** コマンドを使用します。

clear configure fips

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(4)	このコマンドが導入されました。

例

```
hostname(config)# clear configure fips
```

関連コマンド

コマンド	説明
crashinfo console disable	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、およびコンフィギュレーションをディセーブルにします。
fips enable	システムまたはモジュールで FIPS 準拠を強制するためのポリシーチェックをイネーブルまたはディセーブルにします。
fips self-test poweron	電源投入時自己診断テストを実行します。
show crashinfo console	フラッシュに対するクラッシュ書き込みの読み取り、書き込み、および設定を行います。
show running-config fips	セキュリティ アプライアンスで実行されている FIPS コンフィギュレーションを表示します。

clear configure firewall

ファイアウォール モードをデフォルトのルーテッド モードに設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure firewall** コマンドを使用します。

clear configure firewall

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ファイアウォール モードをデフォルトに設定する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure firewall
```

関連コマンド

コマンド	説明
arp	スタティック ARP エントリを追加します。
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
show arp statistics	ARP 統計情報を表示します。
show running-config arp	ARP タイムアウトの現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure fixup

フィックスアップ コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure fixup** コマンドを使用します。

clear configure fixup

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

clear configure fixup コマンドは、フィックスアップ コンフィギュレーションを削除します。

例

次に、フィックスアップ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure fixup
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	セキュリティ アクションを適用するトラフィック クラスを定義します。
policy-map	特定のセキュリティ アクションにクラス マップを関連付けます。

clear configure fragment

すべての IP フラグメント再構築コンフィギュレーションをデフォルトにリセットするには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure fragment** コマンドを使用します。

clear configure fragment [*interface*]

構文の説明

interface (任意) セキュリティアプライアンスのインターフェイスを指定します。

デフォルト

interface が指定されていない場合、このコマンドはすべてのインターフェイスに適用されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバルコンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	configure キーワードおよびオプションの <i>interface</i> 引数が追加されました。また、このコマンドは、コンフィギュレーションデータのクリアを動作データのクリアと区別するために、 clear fragment と clear configure fragment の 2 つのコマンドに分けられました。

使用上のガイドライン

clear configure fragment コマンドは、すべての IP フラグメント再構築コンフィギュレーションをデフォルト値にリセットします。さらに、**chain**、**size**、および **timeout** の各キーワードが、次に示すそれぞれのデフォルト値にリセットされます。

- **chain** は 24 パケットです。
- **size** は 200 です。
- **timeout** は 5 秒です。

例

次に、すべての IP フラグメント再構築コンフィギュレーションをデフォルト値にリセットする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure fragment
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear fragment	IP フラグメント再構築モジュールの動作データをクリアします。
fragment	パケットフラグメンテーションを詳細に管理できるようにし、NFS との互換性を高めます。

コマンド	説明
show fragment	IP フラグメント再構成モジュールの動作データを表示します。
show running-config fragment	IP フラグメント再構成コンフィギュレーションを表示します。

clear configure ftp

FTP コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ftp** コマンドを使用します。

clear configure ftp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure ftp コマンドは、FTP コンフィギュレーションをクリアします。

例

次に、FTP コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure ftp
```

関連コマンド

コマンド	説明
filter ftp	URL フィルタリング サーバによってフィルタリングされる FTP トラフィックを指定します。
filter https	Websense サーバによってフィルタリングされる HTTPS トラフィックを指定します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに送ります。
show running-config filter	フィルタリング コンフィギュレーションを表示します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure global

コンフィギュレーションから **global** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure global** コマンドを使用します。

clear configure global

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

例

次に、コンフィギュレーションから **global** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure global
```

関連コマンド

コマンド	説明
global	グローバル アドレスのプールからエントリを作成します。
show running-config global	コンフィギュレーション内の global コマンドを表示します。

clear configure group-delimiter

トンネルのネゴシエーション中に受信したユーザ名からグループ名を解析するときに使用するグループデリミタをコンフィギュレーションから削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure group-delimiter** コマンドを使用します。グループ名の解析がディセーブルになります。

clear config group-delimiter

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デリミタは、トンネルのネゴシエーション中に、ユーザ名からトンネル グループ名を解析するために使用されます。デリミタが指定されていない場合、グループ名の解析はディセーブルになります。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、グループ デリミタをコンフィギュレーションから削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear config group-delimiter
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-delimiter	グループ名の解析をイネーブルにし、IPSec リモート アクセス トンネル グループのグループ デリミタを指定します。
show running-config group-delimiter	現在の設定済みグループ デリミタを表示します。

clear configure group-policy

特定のグループ ポリシーのコンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure group-policy** コマンドを使用し、グループ ポリシーの名前を付加します。すべての **group-policy** コマンド（デフォルトのグループ ポリシーは除く）をコンフィギュレーションから削除するには、このコマンドを引数なしで使用します。

clear configure group-policy [*name*]

構文の説明

name (任意) グループ ポリシーの名前を指定します。

デフォルト

すべての **group-policy** コマンド（デフォルトのグループ ポリシーは除く）をコンフィギュレーションから削除します。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、FirstGroup という名前のグループ ポリシーのコンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure group-policy FirstGroup
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-policy	グループ ポリシーを作成、編集、または削除します。
group-policy attributes	グループ ポリシー属性モードを開始します。このモードでは、指定したグループ ポリシーの AVP を設定できます。
show running-config group-policy	特定のグループ ポリシーまたはすべてのグループ ポリシーの実行コンフィギュレーションを表示します。

clear configure hostname

ホスト名をデフォルト値にリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure hostname** コマンドを使用します。

clear configure hostname

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルト値はプラットフォームによって異なります。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ホスト名をクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure hostname
```

関連コマンド

コマンド	説明
banner	ログイン バナー、Message-of-The-Day バナー、またはイネーブル バナーを設定します。
domain-name	デフォルトのドメイン名を設定します。
hostname	セキュリティ アプライアンスのホスト名を設定します。

clear configure http

HTTP サーバをディセーブルにし、HTTP サーバにアクセスできる設定済みホストを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure http** コマンドを使用します。

clear configure http

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、HTTP コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure http
```

関連コマンド

コマンド	説明
http	IP アドレスとサブネット マスクによって、HTTP サーバにアクセスできるホストを指定します。ホストが HTTP サーバへのアクセスで経由するセキュリティ アプライアンスのインターフェイスを指定します。
http authentication-certificate	セキュリティ アプライアンスへの HTTPS 接続を確立するユーザの証明書による認証を要求します。
http redirect	セキュリティ アプライアンスが HTTP 接続を HTTPS にリダイレクトすることを指定します。
http server enable	HTTP サーバをイネーブルにします。
show running-config http	HTTP サーバにアクセスできるホストを表示し、さらに HTTP サーバがイネーブルであるかどうかを表示します。

clear configure icmp

ICMP トラフィックの設定済みアクセス ルールをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure icmp** コマンドを使用します。

clear configure icmp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure icmp コマンドは、ICMP トラフィックの設定済みアクセス ルールをクリアします。

例

次に、ICMP トラフィックの設定済みアクセス ルールをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure icmp
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure icmp	ICMP コンフィギュレーションをクリアします。
debug icmp	ICMP のデバッグ情報の表示をイネーブルにします。
show icmp	ICMP コンフィギュレーションを表示します。
timeout icmp	ICMP のアイドル タイムアウトを設定します。

clear configure imap4s

コンフィギュレーションからすべての IMAP4S コマンドを削除して、デフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure imap4s** コマンドを使用します。

clear configure imap4s

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、IMAP4S コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure imap4s
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-configuration imap4s	IMAP4S の実行コンフィギュレーションを表示します。
imap4s	IMAP4S 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure interface

インターフェイス コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure interface** コマンドを使用します。

clear configure interface [*physical_interface*[.*subinterface*] | *mapped_name* | *interface_name*]

構文の説明

<i>interface_name</i>	(任意) nameif コマンド内にインターフェイス名のセットを指定します。
<i>mapped_name</i>	(任意) allocate-interface コマンドを使用してマッピング名を割り当てた場合、マルチ コンテキスト モードでその名前を指定します。
<i>physical_interface</i>	(任意) gigabitenet0/1 などのインターフェイス ID を指定します。有効値については、 interface コマンドを参照してください。
<i>subinterface</i>	(任意) 論理サブインターフェイスを示す 1 ～ 4294967293 の整数を指定します。

デフォルト

インターフェイスを指定しない場合、セキュリティ アプライアンスはすべてのインターフェイス コンフィギュレーションをクリアします。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear interface から変更されました。また、このコマンドは、インターフェイスの新しい番号付け方式を含めるように修正されました。

使用上のガイドライン

メインの物理インターフェイスのインターフェイス コンフィギュレーションをクリアする場合、セキュリティ アプライアンスはデフォルト設定を使用します。

インターフェイス名は、システム実行スペースでは使用できません。これは、**nameif** コマンドはコンテキスト内だけで使用できるためです。同様に、**allocate-interface** コマンドを使用してインターフェイス ID をマッピング名にマッピングした場合、そのマッピング名はコンテキスト内だけで使用できません。

例

次に、GigabitEthernet0/1 コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure interface gigabitethernet0/1
```

次に、内部インターフェイス コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

■ clear configure interface

```
hostname(config)# clear configure interface inside
```

次に、コンテキスト内で int1 インターフェイス コンフィギュレーションをクリアする例を示します。「int1」はマッピング名です。

```
hostname/contexta(config)# clear configure interface int1
```

次に、すべてのインターフェイス コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure interface
```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	インターフェイスおよびサブインターフェイスをセキュリティ コンテキストに割り当てます。
clear interface	show interface コマンドのカウンタをクリアします。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。
show interface	インターフェイスの実行時ステータスと統計情報を表示します。

clear configure ip

ip address コマンドで設定したすべての IP アドレスをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip** コマンドを使用します。

clear configure ip

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

トランスペアレント ファイアウォール モードでは、このコマンドは、管理 IP アドレスと Management 0/0 IP アドレス（設定されている場合）をクリアします。

古い IP アドレスを使用している現在の接続をすべて停止するには、**clear xlate** コマンドを入力します。入力しない場合、接続は通常どおりタイムアウトします。

例

次に、すべての IP アドレスをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ip
```

関連コマンド

コマンド	説明
allocate-interface	インターフェイスおよびサブインターフェイスをセキュリティ コンテキストに割り当てます。
clear configure interface	インターフェイスのコンフィギュレーションをすべてクリアします。
interface	インターフェイスを設定し、インターフェイス コンフィギュレーション モードを開始します。

コマンド	説明
<code>ip address</code>	インターフェイスの IP アドレスを設定します。
<code>show running-config interface</code>	インターフェイスの設定を表示します。

clear configure ip audit

監査ポリシー コンフィギュレーション全体をクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip audit** コマンドを使用します。

clear configure ip audit [configuration]

構文の説明

configuration (任意) このキーワードを入力できますが、使用しない場合も結果は同じです。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース **変更内容**
7.0(1) このコマンドは、**clear ip audit** から変更されました。

例

次に、すべての **ip audit** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure ip audit
```

関連コマンド

コマンド	説明
ip audit attack	攻撃シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit info	情報シグニチャに一致するパケットのデフォルト アクションを設定します。
ip audit interface	監査ポリシーをインターフェイスに割り当てます。
ip audit name	パケットが攻撃シグニチャまたは情報シグニチャに一致した場合に実行するアクションを指定する、名前付き監査ポリシーを作成します。
ip audit signature	シグニチャをディセーブルにします。

clear configure ip local pool

IP アドレス プールを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip local pool** コマンドを使用します。

```
clear ip local pool [poolname]
```

構文の説明

poolname (任意) IP アドレス プールの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、実行コンフィギュレーションからすべての IP アドレス プールを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear config ip local pool
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure ip local pool	すべての IP ローカル プールを削除します。
ip local pool	IP アドレス プールを設定します。

clear configure ip verify reverse-path

ip verify reverse-path コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ip verify reverse-path** コマンドを使用します。

clear configure ip verify reverse-path

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear ip verify reverse-path から変更されました。

例

次に、すべてのインターフェイスの **ip verify reverse-path** コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ip verify reverse-path
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear ip verify statistics	ユニキャスト RPF の統計情報をクリアします。
ip verify reverse-path	IP スプーフィングを防ぐユニキャスト リバース パス転送機能をイネーブルにします。
show ip verify statistics	ユニキャスト RPF 統計情報を表示します。
show running-config ip verify reverse-path	ip verify reverse-path コンフィギュレーションを表示します。

clear configure ipv6

実行コンフィギュレーションからグローバル IPv6 コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ipv6** コマンドを使用します。

clear configure ipv6 [route | access-list]

構文の説明

access-list	(任意) 実行コンフィギュレーションから IPv6 アクセスリスト コマンドをクリアします。
route	(任意) 実行コンフィギュレーションから、IPv6 ルーティング テーブル内のルートをスタティックに定義するコマンドをクリアします。

デフォルト

キーワードを指定しない場合、このコマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての IPv6 コマンドをクリアします。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、実行コンフィギュレーションからグローバル IPv6 コマンドだけをクリアします。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力した IPv6 コマンドはクリアしません。

例

次に、IPv6 ルーティング テーブルから、スタティックに定義された IPv6 ルートをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ipv6 route
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブル内のスタティック ルートを定義します。
show ipv6 route	IPv6 ルーティング テーブルの内容を表示します。
show running-config ipv6	実行コンフィギュレーション内の IPv6 コマンドを表示します。

clear configure isakmp

すべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp** コマンドを使用します。

clear configure isakmp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp コマンドで置換されています。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで発行され、セキュリティ アプライアンスからすべての ISAKMP コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure isakmp
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure isakmp policy	すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションをクリアします。
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp stats	実行時統計情報を表示します。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure isakmp policy

すべての ISAKMP ポリシー コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure isakmp policy** コマンドを使用します。

clear configure isakmp policy priority

構文の説明

priority クリアする ISAKMP プライオリティのプライオリティを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	clear configure isakmp policy コマンドが導入されました。
7.2(1)	このコマンドは廃止されました。 clear configure crypto isakmp policy コマンドに置き換えられました。

例

次に、プライオリティ 3 の ISAKMP ポリシーをコンフィギュレーションから削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure isakmp policy 3
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
isakmp enable	IPSec ピアがセキュリティ アプライアンスと通信するインターフェイス上の ISAKMP ネゴシエーションをイネーブルにします。
show isakmp stats	実行時統計情報を表示します。
show isakmp sa	追加情報を含め、IKE ランタイム SA データベースを表示します。
show running-config isakmp	アクティブなコンフィギュレーションをすべて表示します。

clear configure ldap attribute-map

セキュリティ アプライアンスの実行コンフィギュレーションからすべての LDAP 属性マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ldap attribute-map** コマンドを使用します。

clear configure ldap attribute-map

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドを使用して、セキュリティ アプライアンスの実行コンフィギュレーションから LDAP 属性マップを削除します。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、実行コンフィギュレーションからすべての LDAP 属性マップを削除し、**show running-config ldap attribute-map** コマンドを使用して削除を確認する例を示します。

```
hostname(config)# clear configuration ldap attribute-map
hostname(config)# show running-config ldap attribute-map
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
ldap attribute-map (グローバル コンフィギュレーション モード)	ユーザ定義の属性名を Cisco LDAP 属性名にマッピングするために、LDAP 属性マップを作成して名前を付けます。
ldap-attribute-map (AAA サーバ ホスト モード)	LDAP 属性マップを LDAP サーバにバインドします。
map-name	ユーザ定義の LDAP 属性名を、Cisco LDAP 属性名にマッピングします。

コマンド	説明
map-value	ユーザ定義の属性値をシスコ属性にマッピングします。
show running-config ldap attribute-map	実行中の特定の LDAP 属性マップまたは実行中のすべての属性マップを表示します。

clear configure logging

ロギング コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure logging** コマンドを使用します。

clear configure logging [disabled | level]

構文の説明

disabled	(任意) ディセーブルになっているすべてのシステム ログ メッセージを再度イネーブルにすることを指定します。このオプションを使用することによって、他にクリアされるロギング コンフィギュレーションはありません。
level	(任意) システム ログ メッセージへの重大度レベルの割り当てをデフォルト値にリセットすることを指定します。このオプションを使用することによって、他にクリアされるロギング コンフィギュレーションはありません。

デフォルト

キーワードを指定しない場合、このコマンドは、すべてのコンフィギュレーション設定をデフォルト値に戻します。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

show running-config logging コマンドを使用して、すべてのロギング コンフィギュレーション設定を表示できます。**clear configure logging** コマンドを **disabled** または **level** キーワードなしで使用した場合、すべてのロギング コンフィギュレーション設定がクリアされ、デフォルト値に戻ります。

例

次に、ロギング コンフィギュレーション設定をクリアする例を示します。**show logging** コマンドの出力は、すべてのロギング機能がディセーブルになっていることを示します。

```
hostname(config)# clear configure logging
hostname(config)# show logging
Syslog logging: disabled
  Facility: 20
  Timestamp logging: disabled
  Standby logging: disabled
  Deny Conn when Queue Full: disabled
  Console logging: disabled
  Monitor logging: disabled
  Buffer logging: disabled
```

■ clear configure logging

```
Trap logging: disabled
History logging: disabled
Device ID: disabled
Mail logging: disabled
ASDM logging: disabled
```

関連コマンド

コマンド	説明
show logging	イネーブルなロギング オプションを表示します。
show running-config logging	実行コンフィギュレーションのログ関連部分を表示します。

clear configure logging rate-limit

ロギング レート制限をリセットするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure logging rate-limit** コマンドを使用します。

clear configure logging rate-limit

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(4)	このコマンドが導入されました。

例

次に、ロギング レート制限をリセットする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure logging rate-limit
```

情報がクリアされると、ホストが接続を再確立するまで、何も表示されません。

関連コマンド

コマンド	説明
logging rate limit	システム ログ メッセージが生成されるレートを制限します。
show running config logging rate-limit	現在のロギング レート制限の設定を表示します。

clear configure mac-address-table

mac-address-table static および **mac-address-table aging-time** コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-address-table** コマンドを使用します。

clear configure mac-address-table

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**mac-address-table static** および **mac-address-table aging-time** コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure mac-address-table
```

関連コマンド

コマンド	説明
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
mac-address-table aging-time	ダイナミック MAC アドレス エントリのタイムアウトを設定します。
mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
mac-learn	インターフェイスの MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
show mac-address-table	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含む MAC アドレス テーブルを表示します。

clear configure mac-learn

mac-learn コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-learn** コマンドを使用します。

clear configure mac-learn

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**mac-learn** コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure mac-learn
```

関連コマンド

コマンド	説明
firewall transparent	ファイアウォール モードをトランスペアレントに設定します。
mac-address-table static	MAC アドレス テーブルにスタティック MAC アドレス エントリを追加します。
mac-learn	インターフェイスの MAC アドレス ラーニングをディセーブルにします。
show mac-address-table	ダイナミック エントリおよびスタティック エントリを含む MAC アドレス テーブルを表示します。

clear configure mac-list

mac-list コマンドで指定済みの MAC アドレスの指定したリストを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mac-list** コマンドを使用します。

clear configure mac-list *id*

構文の説明

id MAC アドレス リスト名。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	CLI 規格に適合するようにこのコマンドが変更されました。

使用上のガイドライン

MAC アドレスのリストを削除するには、**clear mac-list** コマンドを使用します。

例

次に、MAC アドレス リストをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure mac-list firstmaclist
```

関連コマンド

コマンド	説明
mac-list	先頭一致検索を使用して MAC アドレスのリストを追加します。
show running-config mac-list	<i>id</i> 値で指定した MAC アドレス リスト内の MAC アドレスを表示します。

clear configure management-access

セキュリティ アプライアンスの管理アクセス用の内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure management-access** コマンドを使用します。

clear configure management-access

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン

management-access コマンドを使用すると、*mgmt_if* で指定したファイアウォール インターフェイスの IP アドレスを使用して、内部管理インターフェイスを定義できます（インターフェイス名は **nameif** コマンドで定義され、**show interface** コマンドの出力で引用符 (" ") に囲まれて表示されます）。**clear configure management-access** コマンドは、**management-access** コマンドで指定した内部管理インターフェイスのコンフィギュレーションを削除します。

例

次に、セキュリティ アプライアンスの管理アクセス用の内部インターフェイスのコンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure management-access
```

関連コマンド

コマンド	説明
management-access	管理アクセス用の内部インターフェイスを設定します。
show running-config management-access	管理アクセスのために設定された内部インターフェイスの名前を表示します。

clear configure monitor-interface

実行コンフィギュレーションからすべての **monitor-interface** コマンドを削除し、デフォルトのインターフェイスヘルスモニタリングに戻すには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure monitor-interface** コマンドを使用します。

clear configure monitor-interface

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバルコンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デフォルトでは、物理インターフェイスがフェールオーバーのためにモニタされます。**clear monitor-interface** コマンドを使用すると、実行コンフィギュレーションから **no monitor-interface** コマンドがクリアされ、デフォルトのインターフェイスヘルスモニタリングに戻ります。実行コンフィギュレーション内の **monitor-interface** コマンドを表示するには、**show running-config all monitor-interface** コマンドを使用します。

例

次に、実行コンフィギュレーションから **monitor-interface** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure monitor-interface
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor-interface	指定したインターフェイスでフェールオーバーを目的とするヘルスモニタリングをイネーブルにします。
show running-config monitor-interface	実行コンフィギュレーション内の monitor-interface コマンドを表示します。

clear configure mroute

実行コンフィギュレーションから **mroute** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mroute** コマンドを使用します。

clear configure mroute

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、コンフィギュレーションから **mroute** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname (config) # clear configure mroute
hostname (config) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
mroute	スタティック マルチキャスト ルートを設定します。
show mroute	IPv4 マルチキャスト ルーティング テーブルを表示します。
show running-config mroute	実行コンフィギュレーション内の mroute コマンドを表示します。

clear configure mtu

すべてのインターフェイスの設定済み最大伝送単位値をクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure mtu** コマンドを使用します。

clear configure mtu

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

clear configure mtu コマンドを使用すると、すべてのイーサネット インターフェイスの最大伝送単位がデフォルトの 1500 に設定されます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	—	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、すべてのインターフェイスの現在の最大伝送単位値をクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure mtu
```

関連コマンド

コマンド	説明
mtu	インターフェイスの最大伝送単位を指定します。
show running-config mtu	現在の最大伝送単位のプロック サイズを表示します。

clear configure multicast-routing

実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure multicast-routing** コマンドを使用します。

clear configure multicast-routing

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure multicast-routing コマンドは、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** を削除します。**no multicast-routing** コマンドも、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除します。

例

次に、実行コンフィギュレーションから **multicast-routing** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure multicast-routing
```

関連コマンド

コマンド	説明
multicast-routing	セキュリティ アプライアンスでマルチキャスト ルーティングをイネーブルにします。

clear configure nac-policy

実行コンフィギュレーションから、すべての NAC ポリシー（グループ ポリシーに割り当てられている NAC ポリシーを除く）を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure nac-policy** コマンドを使用します。

clear configure nac-policy

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、すべての NAC ポリシーを削除する場合にのみ使用します。コンフィギュレーションから 1 つの NAC ポリシーを削除するには、nac-policy コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次のコマンドは、すべての NAC ポリシーを削除する方法を示しています。

```
hostname(config)# clear config nac-policy
```

関連コマンド

コマンド	説明
nac-policy	Cisco NAC ポリシーを作成してアクセスし、そのタイプを指定します。
show nac-policy	セキュリティ アプライアンスでの NAC ポリシー使用状況の統計情報を表示します。
show running-config nac-policy	セキュリティ アプライアンス上の各 NAC ポリシーのコンフィギュレーションを表示します。
show vpn-session_summary.db	IPSec セッション、WebVPN セッション、および NAC セッションの数を表示します。
show vpn-session.db	NAC の結果を含む、VPN セッションの情報を表示します。

clear configure name

コンフィギュレーションから名前のリストをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure name** コマンドを使用します。

clear configure name

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには使用上のガイドラインがありません。

例

次に、名前のリストをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure name
```

関連コマンド

コマンド	説明
name	名前を IP アドレスに関連付けます。
show running-config name	IP アドレスに関連付けられている名前のリストを表示します。

clear configure nat

NAT コンフィギュレーションを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure nat** コマンドを使用します。

clear configure nat

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン

次のことが、トランスペアレント ファイアウォール モードに適用されます。



(注)

トランスペアレント ファイアウォール モードでは、NAT ID 0 のみが有効です。

例

次に、NAT コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure nat
```

関連コマンド

コマンド	説明
nat	ネットワークをグローバル IP アドレス プールに関連付けます。
show running-config nat	ネットワークに関連付けられているグローバル IP アドレスのプールを表示します。

clear configure nat-control

NAT コンフィギュレーションの要件をディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure nat-control** コマンドを使用します。

clear configure nat-control

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	—	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、NAT コンフィギュレーションの要件をディセーブルにする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure nat-control
```

関連コマンド

コマンド	説明
nat	他のインターフェイスのグローバル アドレスに変換される、1 つのインターフェイス上のアドレスを定義します。
nat-control	NAT コントロールを適用します。NAT コントロールをディセーブルにすると、NAT ルールを設定することなく、内部ホストが外部ネットワークと通信できます。
show running-config nat-control	NAT コンフィギュレーションの要件を表示します。

clear configure ntp

NTP コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ntp** コマンドを使用します。

clear configure ntp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear ntp から変更されました。

例

次に、すべての **ntp** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure ntp
```

関連コマンド

コマンド	説明
ntp authenticate	NTP 認証をイネーブルにします。
ntp authentication-key	NTP 認証キーを設定します。
ntp server	セキュリティ アプライアンスの時間を設定する NTP サーバを指定します。
ntp trusted-key	NTP の信頼できるキーを指定します。
show running-config ntp	NTP コンフィギュレーションを表示します。

clear configure object-group

コンフィギュレーションからすべての **object group** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure object-group** コマンドを使用します。

clear configure object-group [protocol | service | icmp-type | network]

構文の説明

icmp-type	(任意) すべての ICMP グループをクリアします。
network	(任意) すべてのネットワーク グループをクリアします。
protocol	(任意) すべてのプロトコル グループをクリアします。
service	(任意) すべてのサービス グループをクリアします。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての **object-group** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure object-group
```

関連コマンド

コマンド	説明
group-object	ネットワーク オブジェクト グループを追加します。
network-object	ネットワーク オブジェクト グループにネットワーク オブジェクトを追加します。
object-group	コンフィギュレーションを最適化するためのオブジェクト グループを定義します。
port-object	サービス オブジェクト グループにポート オブジェクトを追加します。
show running-config object-group	現在のオブジェクト グループを表示します。

clear configure passwd

ログインパスワードコンフィギュレーションをクリアし、デフォルト設定の「cisco」に戻すには、グローバルコンフィギュレーションモードで **clear configure passwd** コマンドを使用します。

clear configure {passwd | password}

構文の説明

passwd | password どちらのコマンドでも入力できます。これらは互いにエイリアス関係にあります。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォールモード		セキュリティコンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバルコンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear passwd から変更されました。

例

次に、ログインパスワードをクリアし、デフォルトの「cisco」に戻す例を示します。

```
hostname(config)# clear configure passwd
```

関連コマンド

コマンド	説明
enable	特権 EXEC モードを開始します。
enable password	イネーブルパスワードを設定します。
passwd	ログインパスワードを設定します。
show curpriv	現在ログインしているユーザ名とユーザの特権レベルを表示します。
show running-config passwd	暗号化された形式でログインパスワードを表示します。

clear configure phone-proxy

電話プロキシ コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure phone-proxy** コマンドを使用します。

```
clear configure phone-proxy [phone_proxy_name]
```

構文の説明

phone_proxy_name Phone Proxy インスタンスの名前を指定します。

コマンドデフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(4)	このコマンドが追加されました。

例

次に、**clear configure phone-proxy** コマンドを使用して、電話プロキシ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure phone-proxy asa_phone_proxy
```

関連コマンド

コマンド	説明
phone-proxy	Phone Proxy インスタンスを設定します。

clear configure pim

実行コンフィギュレーションからすべてのグローバル **pim** コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure pim** コマンドを使用します。

clear configure pim

構文の説明

このコマンドには、キーワードや引数はありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure pim コマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての **pim** コマンドをクリアします。PIM トラフィック カウンタおよびトポロジ情報をクリアするには、**clear pim counters** コマンドおよび **clear pim topology** コマンドを使用します。

clear configure pim コマンドはグローバル コンフィギュレーション モードで入力された **pim** コマンドだけをクリアします。インターフェイス固有の **pim** はクリアしません。

例

次に、実行コンフィギュレーションからすべての **pim** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure pim
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear pim topology	PIM トポロジテーブルをクリアします。
clear pim counters	PIM トラフィック カウンタをクリアします。
show running-config pim	実行コンフィギュレーション内の pim コマンドを表示します。

clear configure policy-map

すべての **policy-map** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure policy-map** コマンドを使用します。

```
clear configure policy-map [type inspect [protocol]]
```

構文の説明

type inspect	(任意) インспекション ポリシー マップをクリアします。
<i>protocol</i>	(任意) クリアするインспекション ポリシー マップのタイプを指定します。利用可能なタイプは次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • dcerpc • dns • esmtp • ftp • gtp • h323 • http • im • mgcp • netbios • p2p • radius-accounting • sip • skinny • snmp

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

■ clear configure policy-map

使用上のガイドライン

特定の名前のポリシー マップをクリアするには、**policy-map** コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次に、**clear configure policy-map** コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure policy-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
policy-map	ポリシーを設定します。これは、1 つのトラフィック クラスと 1 つ以上のアクションのアソシエーションです。
show running-config policy-map	ポリシー コンフィギュレーション全体を表示します。

clear configure pop3s

コンフィギュレーションからすべての POP3S コマンドを削除して、デフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure pop3s** コマンドを使用します。

clear configure pop3s

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、POP3S コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname (config) # clear configure pop3s
hostname (config) #
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-configuration pop3s	POP3S の実行コンフィギュレーションを表示します。
pop3s	POP3S 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure prefix-list

実行コンフィギュレーションから **prefix-list** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure prefix-list** コマンドを使用します。

clear configure prefix-list [*prefix_list_name*]

構文の説明

prefix_list_name (任意) プレフィックス リストの名前。プレフィックス リスト名を指定した場合は、そのプレフィックス リストのコマンドだけがコンフィギュレーションから削除されます。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear prefix-list から clear configure prefix-list に変更されました。

使用上のガイドライン

clear configure prefix-list コマンドは、実行コンフィギュレーションから **prefix-list** コマンドと **prefix-list description** コマンドを削除します。プレフィックス リスト名を指定した場合は、実行コンフィギュレーションからそのプレフィックス リストの **prefix-list** コマンドと **prefix-list description** コマンド（存在する場合）だけが削除されます。

このコマンドは、実行コンフィギュレーションから **no prefix-list sequence** コマンドを削除しません。

例

次に、実行コンフィギュレーションから、MyPrefixList という名前のプレフィックス リストの、すべての **prefix-list** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname# clear configure prefix-list MyPrefixList
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config prefix-list	実行コンフィギュレーション内の prefix-list コマンドを表示します。

clear configure priority-queue

コンフィギュレーションからプライオリティ キューの指定を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure priority-queue** コマンドを使用します。

clear configure priority queue *interface-name*

構文の説明

interface-name プライオリティ キューの詳細を表示するインターフェイスの名前を指定します。

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**clear configure priority-queue** コマンドを使用して、**test** という名前のインターフェイスのプライオリティ キュー コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname (config)# clear configure priority-queue test
```

関連コマンド

コマンド	説明
priority-queue	インターフェイスにプライオリティ キューイングを設定します。
show running-config priority-queue	指定したインターフェイスの現在のプライオリティ キュー コンフィギュレーションを表示します。

clear configure privilege

コマンドの設定済み特権レベルを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure privilege** コマンドを使用します。

clear configure privilege

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは CLI ガイドラインに沿うように変更されました。

使用上のガイドライン

取り消し操作はありません。

例

次に、コマンドの設定済み特権レベルをリセットする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure privilege
```

関連コマンド

コマンド	説明
privilege	コマンド特権レベルを設定します。
show curpriv	現在の特権レベルを表示します。
show running-config privilege	コマンドの特権レベルを表示します。

clear configure regex

すべての正規表現を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure regex** コマンドを使用します。

clear configure regex

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

特定の名前の正規表現をクリアするには、**regex** コマンドの **no** 形式を使用します。

例

次に、設定済みのすべての正規表現をクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure regex
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map type regex	正規表現クラス マップを作成します。
regex	正規表現を作成します。
show running-config regex	すべての正規表現を表示します。
test regex	正規表現をテストします。

clear configure route

connect キーワードを含まないコンフィギュレーションから **route** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route** コマンドを使用します。

```
clear configure route [interface_name ip_address [netmask gateway_ip]]
```

構文の説明

<i>gateway_ip</i>	(任意) ゲートウェイ ルータの IP アドレスを指定します (このルートネットワーク ホップ アドレス)。
<i>interface_name</i>	(任意) 内部または外部のネットワーク インターフェイス名。
<i>ip_address</i>	(任意) 内部または外部ネットワーク IP アドレス。
<i>netmask</i>	(任意) <i>ip_address</i> に適用するネットワーク マスクを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

使用上のガイドライン

デフォルト ルートを指定するには、**0.0.0.0** を使用します。0.0.0.0 IP アドレスは **0** に、0.0.0.0 *netmask* は **0** に省略できます。

例

次に、**connect** キーワードを含まないコンフィギュレーションから **route** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure route
```

関連コマンド

コマンド	説明
route	インターフェイスのスタティック ルートまたはデフォルト ルートを指定します。
show route	ルート情報を表示します。
show running-config route	設定されているルートを表示します。

clear configure route-map

すべてのルート マップを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route-map** コマンドを使用します。

clear configure route-map

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

コンフィギュレーション内のすべての **route-map** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure route-map** コマンドを使用します。 **route-map** コマンドは、あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルート を再配布するための条件を設定するために使用されます。

route-map コマンドを個別に削除するには、 **no route-map** コマンドを使用します。

例

次に、あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルート を再配布するための条件を削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure route-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
route-map	あるルーティング プロトコルから別のルーティング プロトコルにルート を再配布する条件を定義します。
show running-config route-map	ルート マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure router

実行コンフィギュレーションからルータ コンフィギュレーション コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure router** コマンドを使用します。

```
clear configure router [ospf [id] | rip | eigrp [as-number]]
```

構文の説明

<i>as-number</i>	(任意) 指定した EIGRP 自律システム番号 (プロセス ID とも呼びます) に対するコンフィギュレーション コマンドをクリアします。指定しないと、すべての EIGRP ルーティング プロセスに対するコンフィギュレーション コマンドがクリアされます。値の範囲は 1 ~ 65535 です。 セキュリティ アプライアンスでサポートされる EIGRP ルーティング プロセスは 1 つだけであるため、オプションの <i>as-number</i> 引数を含めても、省略した場合と同じ結果になります。
eigrp	(任意) コンフィギュレーションから EIGRP ルータ コンフィギュレーション コマンドだけを削除することを指定します。EIGRP インターフェイス コンフィギュレーション モード コマンドは削除されません。
<i>id</i>	(任意) 指定した OSPF プロセス ID のコンフィギュレーション コマンドをクリアします。ID を指定しないと、すべての OSPF プロセスのコンフィギュレーション コマンドがクリアされます。
ospf	(任意) コンフィギュレーションから OSPF コンフィギュレーション コマンドだけを削除することを指定します。
rip	コンフィギュレーションから RIP コンフィギュレーション コマンドだけを削除することを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear router コマンドから clear configure router コマンドに変更されました。
7.2(1)	rip キーワードがコマンドに追加されました。
8.0(2)	eigrp キーワードがコマンドに追加されました。

例 次に、実行コンフィギュレーションから、OSPF プロセス 1 に関連付けられているすべての OSPF コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure router ospf 1
```

次に、実行コンフィギュレーションから、RIP ルーティング プロセスに関連付けられているすべてのグローバル コンフィギュレーション モード コマンドをクリアする例を示します。インターフェイス コンフィギュレーション モードで入力された RIP コマンドはクリアされません。

```
hostname(config)# clear configure router rip
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config router	グローバル ルータ コンフィギュレーションのコマンドを表示します。
router eigrp	EIGRP ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。
router ospf	OSPF ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。
router rip	RIP ルーティング プロセスをイネーブルにし、そのプロセスのルータ コンフィギュレーション モードを開始します。

clear configure same-security-traffic

same-security-traffic コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure same-security-traffic** コマンドを使用します。

clear configure same-security-traffic

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**same-security-traffic** コマンドが発行されたときにコンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure same-security-traffic
```

関連コマンド

コマンド	説明
same-security-traffic	同じセキュリティ レベルのインターフェイス間の通信を許可します。
show running-config same-security-traffic	same-security-traffic コマンドが発行されたときにコンフィギュレーションを表示します。

clear configure service-policy

サービス ポリシー コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure service-policy** コマンドを使用します。

clear configure service-policy

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**clear configure service-policy** コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure service-policy
```

関連コマンド

コマンド	説明
show service-policy	サービス ポリシーを表示します。
show running-config service-policy	実行コンフィギュレーションに設定されているサービス ポリシーを表示 します。
service-policy	サービス ポリシーを設定します。
clear service-policy	サービス ポリシーの統計情報をクリアします。

clear configure sla monitor

実行コンフィギュレーションから **sla monitor** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure sla monitor** コマンドを使用します。

clear configure sla monitor [*sla-id*]

構文の説明

sla-id (任意) SLA 動作の ID。有効な値は 1 ～ 2147483647 です。

デフォルト

sla-id を指定しなかった場合、SLA 動作のコンフィギュレーションがすべてクリアされます。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、**sla monitor** コマンド、関連する SLA モニタ コンフィギュレーション モード コマンド、および関連する **sla monitor schedule** コマンド（存在する場合）をクリアします。**track rtr** コマンドは、コンフィギュレーションから削除されません。

実行コンフィギュレーション内の **sla monitor** コマンドを表示するには、**show running-config sla monitor** コマンドを使用します。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての **sla monitor** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure sla monitor
```

次に、SLA 動作 ID 5 に関連付けられている **sla monitor** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure sla monitor 5
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config sla monitor	実行コンフィギュレーション内の sla monitor コマンドを表示します。

clear configure smtps

コンフィギュレーションからすべての SMTPS コマンドを削除して、デフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure smtps** コマンドを使用します。

clear configure smtps

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、SMTPS コンフィギュレーションを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure smtps
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-configuration smtps	SMTPS の実行コンフィギュレーションを表示します。
smtps	SMTPS 電子メール プロキシ コンフィギュレーションを作成または編集します。

clear configure smtp-server

SMTP サーバのコマンドと統計情報をすべてクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure smtp-server** コマンドを使用します。

clear configure smtp-server

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュ レーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.1(1)	このコマンドがサポートされるようになりました。

使用上のガイドライン

clear configure smtp-server コマンドは、**smtp** コマンドおよび統計情報をすべてクリアします。

例

次に、すべての **smtp-server** コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure smtp-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config smtp-server	現在の DHCP サーバ コンフィギュレーションを表示します。

clear configure snmp-map

SNMP マップ コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure snmp-map** コマンドを使用します。

clear configure snmp-map

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure snmp-map コマンドは、SNMP マップ コンフィギュレーションを削除します。

例

次に、SNMP マップ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure snmp-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
class-map	セキュリティ アクションを適用するトラフィック クラスを定義します。
deny version	特定のバージョンの SNMP を使用したトラフィックを不許可にします。
inspect snmp	SNMP アプリケーション インспекションをイネーブルにします。
snmp-map	SNMP マップを定義し、SNMP マップ コンフィギュレーション モードをイネーブルにします。

clear configure snmp-server

SNMP サーバをディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure snmp-server** コマンドを使用します。

clear configure snmp-server

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

このコマンドには、デフォルト設定がありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

この例は、SNMP サーバをディセーブルにする方法を示しています。

```
hostname# clear configure snmp-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
snmp-server	SNMP を介してセキュリティ アプライアンスのイベント情報を提供します。
show snmp-server statistics	SNMP サーバのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure ssh

実行コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ssh** コマンドを使用します。

clear configure ssh

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear ssh コマンドから clear configure ssh コマンドに変更されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドをクリアします。特定のコマンドをクリアするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての SSH コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ssh
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ssh	実行コンフィギュレーションの現在の SSH コマンドを表示します。
ssh	指定したクライアントまたはネットワークからセキュリティ アプライアンスへの SSH 接続を許可します。
ssh scopy enable	セキュリティ アプライアンスでセキュア コピー サーバをイネーブルにします。
ssh timeout	アイドル状態の SSH セッションのタイムアウト値を設定します。
ssh version	SSH バージョン 1 と SSH バージョン 2 のいずれかを使用するよう、セキュリティ アプライアンスを制限します。

clear configure ssl

コンフィギュレーションからすべての SSL コマンドを削除して、デフォルト値に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure ssl** コマンドを使用します。

clear configure ssl

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトは次のとおりです。

- SSL クライアントおよび SSL サーバのバージョンは両方とも **any** です。
- SSL 暗号化は、3des-sha1 | des-sha1 | rc4-md5 の順番です。
- トラストポイント アソシエーションはありません。セキュリティ アプライアンスはデフォルトの RSA キー ペア証明書を使用します。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**clear configure ssl** コマンドの使用例を示します。

```
hostname(config)# clear configure ssl
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config ssl	現在設定されている一連の SSL コマンドを表示します。
ssl client-version	セキュリティ アプライアンスがクライアントとして動作する場合に使用する SSL プロトコルおよび TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl server-version	サーバとして動作するときにセキュリティ アプライアンスが使用する SSL/TLS プロトコルのバージョンを指定します。
ssl trust-point	インターフェイスの SSL 証明書を表す証明書トラストポイントを指定します。

clear configure static

コンフィギュレーションからすべての **static** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure static** コマンドを使用します。

clear configure static

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

例

次に、コンフィギュレーションからすべての **static** コマンドを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure static
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config static	コンフィギュレーション内のすべての static コマンドを表示します。
static	ローカル IP アドレスをグローバル IP アドレスにマッピングすることによって、固定の 1 対 1 のアドレス変換ルールを設定します。

clear configure sunrpc-server

リモート プロセッサ コール サービスをセキュリティ アプライアンスからクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure sunrpc-server** コマンドを使用します。

clear configure sunrpc-server [active]

構文の説明

active (任意) セキュリティ アプライアンスで現在アクティブな SunRPC サービスを指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

使用上のガイドライン

sunrpc-server コマンドは、設定済みの **router ospf** コマンドを表示します。



(注)

セキュリティ アプライアンス上で最上位の IP アドレスがプライベート アドレスである場合、このアドレスは hello パケットおよびデータベース定義で送信されます。このアクションを防止するには、**router-id ip_address** をグローバル アドレスに設定します。

例

次に、セキュリティ アプライアンスから SunRPC サービスをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure sunrpc-server active
```

関連コマンド

コマンド	説明
sunrpc-server	SunRPC サービス テーブルを作成します。
show running-config sunrpc-server	SunRPC コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure sysopt

すべての **sysopt** コマンドのコンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure sysopt** コマンドを使用します。

clear configure sysopt

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは、 clear sysopt から変更されました。

例

次に、すべての **sysopt** コマンドのコンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure sysopt
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config sysopt	sysopt コマンド コンフィギュレーションを表示します。
sysopt connection permit-ipsec	ACL でインターフェイスをチェックせずに IPSec トンネルからのすべてのパケットを許可します。
sysopt connection tcpmss	TCP セグメントの最大サイズを上書きします。または、確実に最大サイズが指定したサイズよりも小さくならないようにします。
sysopt connection timewait	最後の標準 TCP クローズダウン シーケンスの後、各 TCP 接続が短縮 TIME_WAIT 状態を保持するようにします。
sysopt nodnsalias	alias コマンドを使用するときに、DNS A レコード アドレスの変更をディセーブルにします。

clear configure tcp-map

tcp-map コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure tcp-map** コマンドを使用します。

clear configure tcp-map

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、TCP マップ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure tcp-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
tcp-map	TCP マップを作成して、TCP マップ コンフィギュレーション モードにアクセスできるようにします。
show running-config tcp-map	TCP マップ コンフィギュレーションに関する情報を表示します。

clear configure telnet

コンフィギュレーションから Telnet 接続およびアイドル タイムアウトを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure telnet** コマンドを使用します。

clear configure telnet

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	キーワード configure が追加されました。

例

次に、セキュリティ アプライアンスのコンフィギュレーションから Telnet 接続およびアイドル タイムアウトを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure telnet
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config telnet	セキュリティ アプライアンスへの Telnet 接続の使用を認可されている IP アドレスの現在のリストを表示します。
telnet	Telnet アクセスをコンソールに追加し、アイドル タイムアウトを設定します。

clear configure terminal

端末の表示幅設定をクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure terminal** コマンドを使用します。

clear configure terminal

構文の説明

このコマンドにはキーワードまたは引数はありません。

デフォルト

デフォルトの表示幅は 80 カラムです。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	configure キーワードが追加されました。

例

次に、表示幅をクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure terminal
```

関連コマンド

コマンド	説明
terminal	端末回線のパラメータを設定します。
terminal width	端末の表示幅を設定します。
show running-config terminal	現在の端末設定を表示します。

clear configure threat-detection

脅威検出コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure threat-detection** コマンドを使用します。

clear configure threat-detection

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

このコマンドは、すべての **threat-detection** コンフィギュレーション コマンドをクリアします。

例

次に、すべての脅威検出コマンドをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure threat-detection
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear threat-detection rate	基本脅威検出の統計情報をクリアします。
clear threat-detection shun	現在回避されているホストを解放します。
show running-config threat-detection	脅威検出コンフィギュレーションを表示します。
threat-detection basic-threat	基本的な脅威の検出をイネーブルにします。
threat-detection scanning-threat	脅威検出のスキャンをイネーブルにします。

clear configure timeout

コンフィギュレーションのデフォルトのアイドル時間に戻すには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure timeout** コマンドを使用します。

clear configure timeout

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
既存	このコマンドは既存です。

例

次に、コンフィギュレーションから最大アイドル時間を削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure timeout
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config timeout	指定されたプロトコルのタイムアウト値を表示します。
timeout	アイドル時間の最大継続期間を設定します。

clear configure time-range

設定されているすべての時間範囲をクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure time-range** コマンドを使用します。

clear configure time-range

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、設定済みのすべての時間範囲をクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure time-range
```

関連コマンド

コマンド	説明
time-range	時間範囲コンフィギュレーション モードを開始し、トラフィック ルールまたはアクションに付加できる時間範囲を定義します。

clear configure tls-proxy

設定されているすべての TLS プロキシ インスタンスを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure tls-proxy** コマンドを使用します。

clear configure tls-proxy

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
8.0(2)	このコマンドが導入されました。

例

次に、**clear configure tls-proxy** コマンドを使用して、設定されているすべての TLS プロキシ インスタンスを削除する例を示します。

```
hostname# clear configure tls-proxy
```

関連コマンド

コマンド	説明
client	暗号スイートを定義し、ローカル ダイナミック証明書の発行者またはキーペアを設定します。
ctl-provider	CTL プロバイダー インスタンスを定義し、プロバイダー コンフィギュレーション モードを開始します。
show running-config tls-proxy	すべてまたは指定された TLS プロキシの実行コンフィギュレーションを表示します。
tls-proxy	TLS プロキシ インスタンスを定義し、最大セッション数を設定します。

clear configure tunnel-group

コンフィギュレーションからすべてのトンネル グループまたは指定したトンネル グループを削除するには、グローバル コンフィギュレーションで **clear config tunnel-group** コマンドを使用します。

clear config tunnel-group [*name*]

構文の説明

name (任意) トンネル グループの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、グローバル コンフィギュレーション モードで、コンフィギュレーションから toengineering トンネル グループを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear config tunnel-group toengineering
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config tunnel-group	すべてのトンネル グループまたは選択したトンネル グループに関する情報を表示します。
tunnel-group	指定されたタイプのトンネル グループ サブコンフィギュレーション モードを開始します。

clear configure tunnel-group-map

clear configure tunnel-group-map コマンドは、証明書の内容からトンネル グループ名が生成される時に使用されるポリシーおよびルールをクリアします。

clear configure tunnel-group-map

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

tunnel-group-map コマンドは、証明書ベースの IKE セッションをトンネル グループにマップするときのポリシーおよびルールを設定します。**crypto ca certificate map** コマンドを使用して作成された証明書マップ エントリをトンネル グループに関連付けるには、グローバル コンフィギュレーション モードで **tunnel-group-map** コマンドを使用します。各呼び出しが一意であり、マップ インデックスを 2 回以上参照しない限り、このコマンドを複数回実行できます。

crypto ca certificate map コマンドは、証明書マッピング ルールの優先順位リストを保守します。設定できるマップは 1 つだけです。ただし、65535 個までのルールをそのマップに設定できます。詳細については、**crypto ca certificate map** コマンドの資料を参照してください。

証明書からトンネル グループ名を取得する処理は、トンネル グループに関連付けられていない証明書マップのエントリを無視します（どのマップ ルールもこのコマンドでは識別されません）。

例

次の例はグローバル コンフィギュレーション モードで入力され、他の設定済みメソッドで名前を取得できない場合に使用されるデフォルトのトンネル グループを指定します。使用するトンネル グループの名前は **group1** です。

```
hostname(config)# clear configure tunnel-group-map
```

関連コマンド

コマンド	説明
crypto ca certificate map	暗号 CA 証明書マップ モードを開始します。
subject-name (クリプト CA 証明書マップ)	ルール エントリ文字列との比較対象となる、CA 証明書に含まれている DN を指定します。
tunnel-group-map default-group	既存のトンネル グループ名をデフォルトのトンネル グループとして指定します。
tunnel-group-map enable	証明書ベースの IKE セッションをトンネル グループにマップするときのポリシーおよびルールを設定します。

clear configure url-block

URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-block** コマンドを使用します。

clear configure url-block

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure url-block コマンドは、URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションをクリアします。

例

次に、URL 保留ブロック バッファおよび長い URL サポート コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure url-block
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-block block statistics	ブロック バッファの使用状況カウンタをクリアします。
show url-block	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-block	Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure url-cache

URL キャッシュをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-cache** コマンドを使用します。

clear configure url-cache

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure url-cache コマンドは、URL キャッシュをクリアします。

例

次に、URL キャッシュをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure url-cache
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-cache statistics	コンフィギュレーションから url-cache コマンド ステートメントを削除します。
filter url	トラフィックを URL フィルタリング サーバに送ります。
show url-cache statistics	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-server	scsc コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure url-list

WebVPN ユーザがアクセスできる設定済みの URL のセットを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-list** コマンドを使用します。設定済みのすべての URL を削除するには、このコマンドを *listname* 引数なしで使用します。特定のリストの URL だけを削除するには、*listname* を指定してこのコマンドを使用します。

clear configure url-list [*listname*]

構文の説明

listname WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットをグループ化します。最大 64 文字です。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、*Marketing URLs* という URL リストを削除する例を示します。

```
hostname(config)# clear configure url-list Marketing URLs
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-configuration url-list	現在設定されている一連の url-list コマンドを表示します。
url-list	WebVPN ユーザがアクセスできる URL のセットを設定するには、グローバル コンフィギュレーション モードでこのコマンドを使用します。
url-list	特定のグループ ポリシーまたはユーザの WebVPN URL アクセスをイネーブルにするには、グループ ポリシーまたはユーザ名モードからアクセスする webvpn モードでこのコマンドを使用します。

clear configure url-server

URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure url-server** コマンドを使用します。

clear configure url-server

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure url-server コマンドは、URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションをクリアします。

例

次に、URL フィルタリング サーバ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname# clear configure url-server
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear url-server	URL フィルタリング サーバの統計情報をクリアします。
show url-server	N2H2 フィルタリング サーバまたは Websense フィルタリング サーバからの応答を待っている間の URL バッファリングに使用される URL キャッシュに関する情報を表示します。
url-cache	N2H2 サーバまたは Websense サーバからの応答を保留している間の URL キャッシングをイネーブルにし、キャッシュのサイズを設定します。
url-block	フィルタリング サーバからのフィルタリング決定を待っている間、Web サーバの応答に使用される URL バッファを管理します。
url-server	filter コマンドで使用する N2H2 サーバまたは Websense サーバを指定します。

clear configure username

ユーザ名データベースをクリアするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure username** コマンドを使用します。特定のユーザのコンフィギュレーションをクリアするには、このコマンドを使用し、ユーザ名を付加します。

clear configure username [*name*]

構文の説明

name (任意) ユーザの名前を指定します。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

内部ユーザ認証データベースは、**username** コマンドを使用して入力されたユーザで構成されています。**login** コマンドでは、このデータベースを認証用に使用します。

例

次に、anyuser という名前のユーザのコンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure username anyuser
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config username	特定のユーザまたはすべてのユーザの実行コンフィギュレーションを表示します。
username	セキュリティ アプライアンス データベースにユーザを追加します。
username attributes	特定のユーザの AVP を設定できます。

clear configure virtual

コンフィギュレーションから認証仮想サーバを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure virtual** コマンドを使用します。

clear configure virtual

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレー ション	•	•	—	—	•

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドは CLI ガイドラインに沿うように変更されました。

使用上のガイドライン

取り消し操作はありません。

例

次に、**clear configure virtual** コマンドの例を示します。

```
hostname(config)# clear configure virtual
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config virtual	認証仮想サーバの IP アドレスを表示します。
virtual http	セキュリティ アプライアンスと HTTP サーバでの別々の認証を可能にします。
virtual telnet	セキュリティ アプライアンスが認証プロンプトを提供しないトラフィック タイプの仮想 Telnet サーバでユーザを認証します。

clear configure vpdn group

コンフィギュレーションからすべての **vpdn group** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure vpdn group** コマンドを使用します。

clear configure vpdn group

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure vpdn group コマンドを入力しても、アクティブな PPPoE 接続に影響はありません。

例

次に、VPDN グループ コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure vpdn group
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure vpdn username	すべての vpdn username コマンドをコンフィギュレーションから削除します。
show running-config vpdn username	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure vpdn username

コンフィギュレーションからすべての **vpdn username** コマンドを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure vpdn username** コマンドを使用します。

clear configure vpdn username

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure vpdn username コマンドを入力しても、アクティブな PPPoE 接続に影響はありません。

例

次に、VPDN ユーザ名コンフィギュレーションをクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure vpdn username
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear configure vpdn group	コンフィギュレーションからすべての vpdn group コマンドを削除します。
show running-config vpdn username	VPDN ユーザ名の現在のコンフィギュレーションを表示します。

clear configure vpn-load-balancing

以前に指定した VPN ロード バランシング コンフィギュレーションを削除して、VPN ロード バランシングをディセーブルにするには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure vpn load-balancing** コマンドを使用します。

clear configure vpn load-balancing

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンドモード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンドモード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure vpn load-balancing コマンドは、**cluster encryption**、**cluster ip address**、**cluster key**、**cluster port**、**nat**、**participate**、**priority** などの関連コマンドもクリアします。

例

次のコマンドでは、コンフィギュレーションから VPN ロード バランシング コンフィギュレーション ステートメントを削除しています。

```
hostname(config)# clear configure vpn load-balancing
```

関連コマンド

show running-config load-balancing	現在の VPN ロード バランシング コンフィギュレーションを表示します。
vpn load-balancing	VPN ロード バランシング モードを開始します。

clear configure wccp

すべての WCCP 設定を削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure wccp** コマンドを使用します。

clear configure wccp

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

デフォルトの動作や値はありません。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ コンテキ スト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	•	•	•	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2(1)	このコマンドが導入されました。

例

次に、WCCP 設定をクリアする例を示します。

```
hostname(config)# clear configure wccp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show wccp	WCCP コンフィギュレーションを表示します。
wccp redirect	WCCP リダイレクションのサポートをイネーブルにします。

clear configure zonelabs-integrity

実行コンフィギュレーションからすべての Zone Labs Integrity サーバを削除するには、グローバル コンフィギュレーション モードで **clear configure zonelabs-integrity** コマンドを使用します。

clear configure zonelabs-integrity

構文の説明

このコマンドには引数またはキーワードはありません。

デフォルト

すべての Zone Labs Integrity サーバを削除します。

コマンド モード

次の表に、コマンドを入力できるモードを示します。

コマンド モード	ファイアウォール モード		セキュリティ コンテキスト		
	ルーテッド	透過	シングル	マルチ	
				コンテキスト	システム
グローバル コンフィギュレーション	•	—	•	—	—

コマンド履歴

リリース	変更内容
7.2.(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

clear configure zonelabs-integrity コマンドは、実行コンフィギュレーションからすべての Zone Labs Integrity サーバ（アクティブとスタンバイを含む）を削除します。

例

次に、設定済みの 2 つの Zone Labs Integrity サーバを削除する例を示します。

```
hostname(config)# show running-config zonelabs-integrity
zonelabs-integrity server-address 10.0.9.1 10.0.9.2
hostname(config)# clear configure zonelabs-integrity
hostname(config)# show running-config zonelabs-integrity
hostname(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show running-config [all] zonelabs-integrity	設定されている Zone Labs Integrity サーバを表示します。